

集会案内

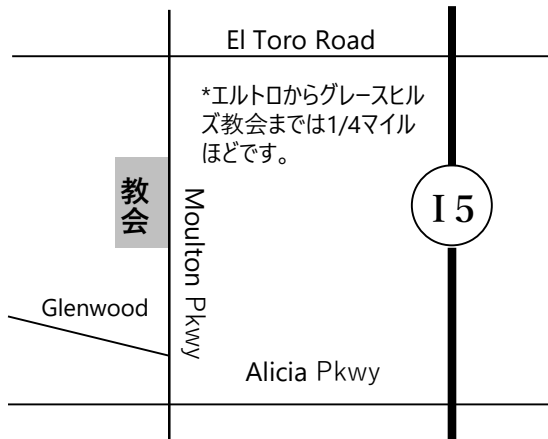
毎週日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
10 : 30 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 13年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinihongokyokai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
Eメール: sugimura1950@gmail.com
田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
Eメール: mt.moriya77@gmail.com

◎石叫 「初孫」②
いつもはソーシャル・ワーカーとして職場で活発に働いていた娘が、絶対安静を命じられて、どんなに苦痛であったろうかと思うのだが、娘は「赤ちゃんのために我慢しないとね」と健気に言うのだった。僕と妻の週二回の訪問の度に、皆で「今週も守られたね。今日は○週目に入ったね」などと言っては互いに喜び合った。そしてできれば、三十四週までこの状態が続いてくれるように祈っていたのだった。三十四週に入れば、赤ちゃんはほぼ問題なく出産できるといふことだったが、それを待たずの出産となった。予定より八週間も早い出産であり、生まれてくる赤ちゃんは未熟児であることを意味する。初産でしかも早産、さらに、帝王切開というので娘は電話で話すことも出来ないほど情緒的に動揺し、電話の向こうで泣いていたのだった。
そこで僕が「今晩行こうか、それとも、明日が良いかい」と尋ねると、明日が良いだろうという返事だったので、僕たちは家で待機することにした。その夜、いつ大地君から連絡が入るだろうかと首を長くして待っていた。八時を過ぎ、九時を過ぎ、そして十時を過ぎても連絡がない。一体、何が起ったのかと思いつ、心配のために落ち着きを失い、妻と二人で黙ったまま時計を見続けるといつありさまであった。そのような時にこそ、僕は心から主を賛美すべきであった。これまで、人には何事があっても主を賛美しようと言ったり、今回のように泣いている娘に「こんな時だから主を讃えようよ」と言ってはみたのだが、肝心な時に、僕はすっかり主への感謝と賛美を忘れてしまっていた。「これも牧師かよ！」と自分を叱責する不甲斐なさであった。
夜の十時半頃だ。大地君から携帯にテキストで第一報が入った。元気な男の赤ちゃんが生まれたという。三枚もの写真が添付されている。娘が赤ちゃんに頬ずりしている写真や、大地君が娘のベッドの傍に寄り添っているものだった。それを見た途端、それまでの不安が一気に吹っ飛んでしまった。それからは大地君の両親も加わって、三者でチャットが始まった。大地君がラスベガスの両親にも同時にテキストを送っていたからである。無事に新しい命が与えられたという安堵感と喜びで、僕たちはしばらく眠れずにいた。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力ですべての毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。